

令和3(2021)年12月1日

在学生、保護者の皆さま
入学予定者の皆さま
受験生の皆さま

駿河台大学
学長 大森一宏

「2022年度授業実施基本方針」について

コロナ禍での本学における授業は、学内の感染防止措置に関するガイドラインを策定し、「感染防止措置と対面型授業を適切に両立させること」を基本方針として運営しています。

2022年度における授業は、この基本方針を継続した上で、可能な限り多くの科目を対面型授業とします。ただし、受講者が一定数を超える授業や定員を減らした教室の割振りの状況等により、一部の授業科目についてはオンライン型やハイブリッド型（対面+オンライン）で実施する場合があります。また、感染症の社会的情勢（感染拡大状況、ワクチン接種状況、医療体制状況等）によっては、これらの授業実施方法の配分を適宜調整する場合があります。

学生の皆さんが安心して大学で授業を受講し、可能な限り本来の学生生活を送ることができるよう感染防止措置の点検に努めますので、学生の皆さんも引き続きマスクの着用、検温、消毒、黙食の励行等々感染予防策にご協力をお願いします。

なお、2022年度授業科目別の開講計画の詳細については、感染症の社会情勢を注視しつつ、新年度に対応可能な適切な時期に在学生ポータルサイト（ポタロウ）等でお知らせします。

以上

<備考>

（1）授業形態

- ①対面型：教室等で教員と学生が対面して行う授業（全ての授業科目の基本形態）
- ②オンライン型：リアルタイム形式とオンデマンド形式があります。
 - ・リアルタイム形式：時間割で指定された曜日時限に開講される授業をオンライン利用で受講する授業
 - ・オンデマンド形式：時間割で指定された曜日時限以外でもオンライン利用で一定期間、資料や録画の閲覧、課題提出などができる授業
- ③ハイブリッド型：対面型とオンライン型を組み合わせる授業

（2）駿河台大学eラーニングシステム

オンライン授業では、駿河台大学共通利用eラーニングシステム「Moodle（ムードル）」を主に使用します。これは、各種資料や課題の提示、レポート提出、小テスト実施機能等がある授業支援システムです。

また、主にオンライン型リアルタイム形式の授業では、「Teams」、「Zoom」などのテレビ・Web会議ツールを利用します。

（3）授業改善

オンライン授業に関するアンケート（学生対象・教員対象）を複数回実施し、オンライン授業の改善点やメリットを継続的に検証しています。この検証結果を全教職員が研修等を通じて共有し、適宜オンライン授業に反映させています。2022年度のオンライン授業にも活かし、より質の高い授業を提供できるよう努めます。